



十二月句合

尾ももけうららのめく 相国 山隠君
の雀と雪 とや せとらふの野 いせ うりぬ

黄も の けり ん 朝の こ 呂 即 雀女
糸 の けり ん の り 葉 う ゝ あ れ の 奥 堂 雀女
陰 を ふ さ と う ち ぬ ら る 葉 う れ 、 ニ ら め つ 呂

終 の 日 も ち て ぬ て ぬ り の 葉 片 む、 五馬
紙 子 て り ぬ い ぬ い ぬ の 葉 常 保彦
葉 も の め ぐ と ぬ ぬ ぬ 葉 の 雀 玉 造 秋窓

あ も ち て 指 も ぬ ぬ 下 毛 根 木 う ぬ 日
態 う ち ち 葉 も ぬ ぬ 葉 と ぬ 世 葉 ニ かん つ 閑月

黄 も よ う ち ぬ 入り り 余 は の 日 閑月
妹 も ち ぬ ぬ 日 と 今 日 の ち が 日 ニ 閑月

黄 の 葉 片 ぬ ぬ ぬ い ぬ ぬ 坂 ま ぬ い
黄 も ち ぬ 備 り ぬ り ぬ り 舟 の 葉 も ぬ い
黄 の ち ぬ ぬ ぬ ぬ 上 毛 根 木 玉 笑

黄 も ち ぬ ぬ ぬ ぬ 武 藏 国 ぬ つ ぬ ぬ
黄 や ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ 高 野 鳥 先

黄 の ち ぬ ぬ ぬ ぬ 熊 谷 ろ 律
黄 の ち ぬ ぬ ぬ ぬ 江 戸 花 蝶

黄 も ち ぬ ぬ ぬ ぬ 天 橋 應 い
黄 も ち ぬ ぬ ぬ ぬ 天 橋 應 い

た ぬ ぬ ぬ ぬ 天 橋 應 い

素白

撰者 金倉

於 て ぬ ぬ ぬ ぬ ぬ 天 橋 應 い

天 の ち ぬ 地 も ぬ ぬ 人 玉 笑



四月白谷

笠りとも柳（和厚末）の玉阿

船子（下ッカ）の影もまた山

園子の影もあすり柳（葛原）の波

き〜柳（大碓）の影もあすり

柳（あか）の影もあすり

うその影もあすり

柳（奥田）の影もあすり

川（古道）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

柳（九雀）の影もあすり

天（十）の地（十）の人（十）あすり

作者 金令舎

二日句合

雪の脚に影をさす入るるら 相原 一阿

月影にさす影の縁 将棊 上鼻

水にさす影の縁 あ、妻田 菊雀

雪にさす影の縁 可候

雪にさす影の縁 共朝

雪にさす影の縁 路一

雪にさす影の縁 奥也寺 古道

雪にさす影の縁 電丸

雪にさす影の縁 一得

雪にさす影の縁 草鳥

雪にさす影の縁 季尺

雪にさす影の縁 共童

雪にさす影の縁 閑月

雪にさす影の縁 兔水

雪にさす影の縁 総人

雪にさす影の縁 筆露

雪にさす影の縁 おと丸

雪にさす影の縁 壺半

雪にさす影の縁 鳥光

雪にさす影の縁 董休

雪にさす影の縁 素白

雪にさす影の縁 呂律

雪にさす影の縁 柳子

雪にさす影の縁 白奥

雪にさす影の縁 瓢傘

雪にさす影の縁 荷乙

雪にさす影の縁 雪人

雪にさす影の縁 徳

雪にさす影の縁 おくせ

雪にさす影の縁 維子

雪にさす影の縁 妙哉山

雪にさす影の縁 奥福嶋

雪にさす影の縁 常牛越

雪にさす影の縁 下毛岳

雪にさす影の縁 嶺麻呂

雪にさす影の縁 嵐齋

雪にさす影の縁 壺半

雪にさす影の縁 竹葎

雪にさす影の縁 天玄地 其朔人 鳥光

金令

三月句合

七癖や 袷の袷色ゆり 屋もぬ 相厚木 二阿
律僧のさそひ後子や 文衣 トカ 文耕

本喰の水あこのり 文衣 失細 一怪
味嗜新屋も香風透せ 文衣 奥仙童 一巧

務人正々ひもさすを 呆子多 甲サレシ 蛙衾
りもあつといとてぬをや用子多 常安念 牛止

豆腐焼陣たまき丸 衣之 常安念 里梁
秋晴の何とあうよあんこより 下毛栞木 うねる

うき人のせえもや 文衣 下毛栞木 うねる
姑女の氣まゝの娘り あをせ乱 ひら山

そとあて鳴も一羽り 閑子多 閑月
西りの鈴もふもろ かんこより 二外

文衣も陣の湯女も髪結んで あき
子菘も陣毛ぬけを 袷の日 下茶 智心

い川より花替井よりらんこ多 上毛 松彦
袷の多もあひせりや 文衣 中野堂 鶴夕

於うけ 袷の裏うも 閑子多 武吉寺 鳥光
あつても置置とてや 袷れ日 熊谷 了律

あつても置置とてや 袷れ日 坂戸 素白
こもりくのそ川津のまう かんこ多 吉橋 田代

尾くひく袷もあをせに 閑子多 江戸 葛真
白ひもも袷の具もれ 袷をて

かんこより 袷の具もれ 袷をて 江戸 葛真
古もも袷のあをせ 袷をて 一曉

かき 菴のわら 文衣 卓老
膝拂 文衣 明良
袷のや 文衣 竹馬

袷のや 文衣 竹馬
橋も古もこり 更衣 應々

おくれ
日やあき 袷の勢も海もさる 下毛里利 生勢
ありや 袷の勢も海もさる 上毛山名 如雲
ありや 袷の勢も海もさる 武吉梅 露月

在り入れ 撰者 金令
天里梁 地 鳥光 人 葛真

五月旬書

光生の撰はつきー 未麻呂 おま 玉珂
 輝よりしんまふまふ 未麻呂 おま 雲舎
 古今の伝はるる 花屋 おま 雄扇
 宿願を成りしき 宿願 おま 山陰居
 此より六部 おま 其烟
 彦毛や 雲のり おま 露月
 相の おま 故園
 湯 おま 蛙倉
 彦毛の田 おま 古道
 本 おま 草鳥
 彦毛の おま 里菜
 ね おま 春江
 彦毛の おま 免水
 彦毛 おま 山
 彦毛 おま 雨月
 彦毛 おま 嵐島
 彦毛 おま 樞心
 彦毛 おま 石山
 彦毛 おま 松色
 彦毛 おま 鶏秀
 彦毛 おま 大夢
 彦毛 おま 柳枝
 彦毛 おま 良貞
 彦毛 おま 梅枝
 彦毛 おま 原骨
 彦毛 おま 秋禾
 彦毛 おま 舟老
 彦毛 おま 應々
 彦毛 おま 龍丸
 彦毛 おま 嘆為
 彦毛 おま 金令舎
 彦毛 おま 天
 彦毛 おま 地
 彦毛 おま 里
 彦毛 おま 梁
 彦毛 おま 人
 彦毛 おま 嵐
 彦毛 おま 鳥

相矢田 龍丸
 武吉野 嘆為
 撰 金令舎
 天 彦毛
 地 彦毛
 里 彦毛
 梁 彦毛
 人 彦毛
 嵐 彦毛
 鳥 彦毛

七月白合



焼梨子^{相厚}の戸^玉の月^阿 月見^風の月^{六元}
 月見^松の月^井の月^田の月^厚
 月見^山の月^一の月^四
 月見^常の月^里の月^梁
 月見^甲の月^牛の月^止
 月見^上の月^井の月^六
 月見^下の月^毛の月^童
 月見^金の月^崎の月^流
 月見^木の月^平の月^山
 月見^月の月^山の月^月
 月見^巨の月^利の月^月
 月見^上の月^毛の月^中の月^枝
 月見^三の月^木の月^月
 月見^衣の月^五の月^月
 月見^相の月^生の月^月
 月見^武の月^来の月^月
 月見^江の月^戸の月^月
 月見^相の月^西の月^月
 月見^圓の月^月の月^月
 月見^夫の月^月の月^月
 月見^江の月^月の月^月
 月見^白の月^尾の月^月

天^土保^差地^一好^人書^風
 撰者 金合

天竺白 地巴 尔 人 语 二

天竺白 地巴 尔 人 语 二 卷之五 地巴 尔 人 语 二 卷之五

天竺白 地巴 尔 人 语 二 卷之五 地巴 尔 人 语 二 卷之五

天竺白

天竺白 地巴 尔 人 语 二 卷之五 地巴 尔 人 语 二 卷之五

地巴 尔 人 语 二